

社団法人 日本ボディビル連盟
平成21年度 第1回 総会 議事録 (抜粋)

- ◇ 日 時 平成21年6月7日(日) 午後3時～午後6時10分
◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室B

◇ 会長挨拶 平成21年度ボディビル連盟総会に皆様ご出席を頂き誠にご苦労様です。 昨年は皆様大変なご苦労されたと思いますが、それにめげず、今年度も皆様と力を合わせて頑張っていきたいと思っております。 今回の総会は、決算総会です。 昨年の事業報告、決算報告、それから役員改選についての三点が主な議題です。 それからいろいろな懸案事項もありますのでご審議のほど、宜しく御願致します。

◇ 議長選出 定款第22条により、議長は玉利齊会長を選出。

◇ 定足数の確認 正会員総数58名。 本日出席正会員24名、委任状による出席正会員32名、欠席正会員1名、合計出席正会員57名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】 平成20年度事業報告及び収支決算書について

第一号議案は、報告通り、全会一致で承認された。

(JBBFホームページの平成20年度事業報告及び収支決算書を参照)

【第二号議案】 平成21年度～平成22年度の役員改選について

第二号議案は、報告通り、全会一致で承認された。

(JBBFホームページ名簿の日本連盟を参照)

【第三号議案】 平成21年度日本連盟専門委員会について

第三号議案は、報告通り、全会一致で承認された。

(JBBFホームページ名簿の日本連盟を参照)

【第四号議案】 平成21年度日本連盟主催大会審査員・競技運営委員について

第四号議案は、報告通り、全会一致で承認された。

(JBBFホームページのJBBF主催大会審査員を参照)

【第五号議案】 規程の改定について

第五号議案は、報告通り、全会一致で承認された。

(JBBFホームページの総会を参照)

【第六号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ

(1) 所属:高知県連盟(同好会)

クラブ名:コバックボディビル同好会(準加盟)

住所:高知県高知市仲田町4-23(市川自動車内) 電話:088-831-5523

代表:市川 洋 二

(2) 所属:長野県連盟(クラブ)

クラブ名:TEAM RESCUEトレーニングジム(正加盟)

住所:長野県北安曇郡白馬村神城22200-42 電話:0261-75-4331

代表:沖 浦 克 治(二級指導員)

- (3) 所属:日本社会人連盟(クラブ)
 クラブ名:有限会社NISHI-CORPボディビルクラブ(準加盟)
 住所:神奈川県川崎市川崎区池田
 代表:西 平 ジョージ
- (4) 所属:日本社会人連盟(クラブ)
 クラブ名:ボデーショップ小森ボディビルクラブ(準加盟)
 住所:福岡県鞍手郡鞍手町室木
 代表:小 森 修 一
- (5) 所属:日本社会人連盟(クラブ)
 クラブ名:加藤鍼灸院ボディビルクラブ(準加盟)
 住所:北海道札幌市北区新琴似六条
 代表:加 藤 充
- (6) 所属:日本社会人連盟(クラブ)
 クラブ名:本多染工ボディビルクラブ(準加盟)
 住所:東京都葛飾区東四つ木
 代表:本 多 正 孝
- (7) 所属:日本社会人連盟(クラブ)
 クラブ名:MACO治療院ボディビルクラブ(準加盟)
 住所:神奈川県藤沢市辻堂
 代表:渡 邊 茂
- (8) 所属:宮崎県連盟(クラブ)
 クラブ名:フィットネスクラブ ベストシェイプ(正加盟)
 住所:宮崎県都城市栄町6-24 矢崎ビル3階 電話:0986-57-8585
 代表:立 喰 京 隆(指導員資格二級)
- (9) 所属:静岡県連盟(クラブ)
 クラブ名:スポーツクラブ S&C(正加盟)
 住所:静岡県菊川市加茂2849-1 電話:0537-36-1226
 代表:塚 本 修(指導員資格一級)

2. 退会クラブ

- | | | | |
|--------------|-------------------|--------|-----------|
| (1) 群馬県連盟 | 渋川トレーニングジム | 鈴木広一代表 | 退会:会員減少 |
| (2) 埼玉県連盟 | ベーシックスポーツクラブ | 小峯貢代表 | 閉鎖 |
| (3) 千葉県連盟 | NEフィットネスクラブモバラ | 岩本清一代表 | 退会 |
| (4) 富山県連盟 | エアーズバンデッドボディビル同好会 | 西海功代表 | 退会:休止再開困難 |
| (5) 愛媛県連盟 | 川之江バーベルボディビル同好会 | 篠原隆代表 | 閉鎖 |
| (6) 愛媛県連盟 | 南宇和ボディビル同好会 | 沖野浩次代表 | 閉鎖:経営困難 |
| (7) 徳島県連盟 | フレックスジム | 菊池英夫代表 | 退会:体調不良 |
| (8) 長野県連盟 | IMAMURAボディビル同好会 | 今村智和代表 | 退会:休止 |
| (9) 愛知県連盟 | 新日鉄ボディビル同好会 | 小田原博代表 | 閉鎖 |
| (10) 日本社会人連盟 | 三菱ふそうボディビルクラブ | 三田村昭代表 | 退会:対外活動中止 |
| (11) 日本社会人連盟 | ノーリツボディビルクラブ | 神田宜儀代表 | 退会:対外活動中止 |

第六号議案は上記の通り報告され、全会一致で承認された。

【その他】 運営に必要な事項の検討及び報告

1. 北区ボディビル連盟の設立と北区体育協会加盟について
東京都北区ボディビル・フィットネス連盟が発足し、平成21年4月1日に財団法人東京都北区体育協会への加盟が承認されたことが報告された。また、発足の趣旨・体協加盟のメリットや承認までの経過を東京都北区連盟理事長より報告された。
2. 千葉県連盟会長の件について
東京連盟所属当時の加盟クラブ費の未納の件で日本連盟より通知書を本人へ郵送し、入金されたことが報告された。
3. 福島県連盟理事長、千葉県連盟前理事長の件について
平成20年7月27日開催の関東クラス別大会において審査員の職務を途中退席したO氏、並びに途中退席を容認した大会責任者のY氏の2名に、平成21年3月1日より2年間JBBF公認審査員の資格停止を通告したことが報告された。
4. 東京連盟加盟クラブ会員からの仲裁依頼について
東京連盟加盟クラブの会員より、クラブの会員除名処分に対し、日本連盟にトレーニングが出来るように仲裁の依頼があった。審議の結果、会員とクラブの問題には日本連盟は関与しないことが全会一致で決議された。
5. 主催大会における、日本連盟と主管連盟との約定書の変更について
日本連盟と主催大会の主管連盟との約定書が修正され、全会一致で承認された。
6. ボディビル大会での限定選手登録について
現在体協関係大会、底辺拡大の小規模なオープン大会(日本連盟承認)では正規の選手登録を行わないのでドーピング問題、選手層の情報の対象とならない。そこで21年度に限りブロック大会と同時開催されるオープン大会(部門など)に出場する選手は、地方連盟経由で日本連盟に1,000円の限定選手登録をすることにより限定した大会に選手登録をすることが全会一致で承認された。
7. 日本選手権大会の実行委員会について
日本選手権、ジュニア選手権、全国高等学校選手権大会について、本年度は理事、正会員がより積極的に協力して頂きたいと要請された。また今年度も実行委員会が実行することが全会一致で承認され、役員役職は執行部に一任された。
8. 競技会検査に於ける主催連盟へのお願い
アンチドーピング委員会より21年度実施する大会はブロック大会以上(同時開催の地方大会を含む)を対象とすることが報告され、実施の際の協力がアンチドーピング委員会事務局長より要請があった。
9. スポンサーが付いた大会について
賞金付きの大会を実施する企画が提案され、実施する方向で執行部に一任された。
10. 公認クラブ及び同好会、正会員、理事等の平成20年度迄の年会費未納とその対応について
未納が有るので別紙資料として報告された。昨年はブロック代表にも報告したが、この度は質問もあり、公表したことが事務局より報告された。

11. 地方連盟でボディビル選手権大会を開催していない連盟について

開催していない連盟(過去3年間の実績表)を別紙資料として事務局より報告された。対応についてはブロック代表が実態を把握することが確認された。また地方連盟は事業報告、会計報告、大会開催は最低限の義務であることが報告された。更に、連盟活動を実施していない連盟に対して、実施していない理由と今後の方向性に対する質問書を日本連盟が出すことが議決された。

12. 加盟公認クラブの厳しい経営状況について

公認クラブの経営状況は経営者の経営責任であり、自助努力が必要で、考え方、運営姿勢により格差がある。日本連盟としてはパブリシティを通して社会性や健康づくりブームによる存在感をアピールすることなどで対応することが報告された。

13. JBBFの健全経営の方策について聞きたい

JBBFの在り方として、最初に公認クラブが少なくなっているため、ボディビル競技の評価を高めることにより公的助成金がより多く、また企業の大会スポンサーが増える可能性が大きくなる。次に、公認クラブを増やすということより、登録会員を増やすことは現実的に可能で、選手・指導員・審査員など愛好者の拡大が必要であると玉利会長より説明があった。

14. 健康づくりのための筋力トレーニング指導士制度を設けることについて

JBBF公認指導員資格は、ボディビル競技者向けの資格で、行政と外部から受けにくい。筋力トレーニングは健康づくりや介護予防に不可欠な要素であり実技を含め名称を考慮し、講習会を実施する方向で検討することの必要性が玉利会長より説明された。

15. マドカスクール活動について

JBBF公式種目であるフィットネスとボディフィットネスの競技がまだまだ一般に知られていないので、主催大会、また要請があれば地方連盟での大会でフィットネスとボディフィットネスの競技のデモンストレーションをマドカスクール・フィットネスガールズが行いたいと日本連盟に申請があった。これから地方大会でのゲストとして指名して頂きたいとの要望が齊藤円女史からあったことが報告された。

16. JBBF登録(選手、審査員、指導員、公認クラブ)報告

別紙資料③として報告された。

17. 国際連盟の動向について

ドーピング陽性者の処分をめぐるABBFとIFBBが対立し、ABBFがIFBBをCAS(国際スポーツ仲裁裁判所)に提訴しようとしたことに対し、IFBBがABBF及びポールチュア事務総長を資格停止処分にした。ABBF側はIFBBの組織自体を否定する行動を起こし収拾出来ない混乱状態を呈している。

JBBFはあく迄国際スポーツ組織(IOC,GAISF,WADA,OCA)等のルールを尊重して、出来る限り個々の紛争にはタッチせず、世界のボディビル界と世界のボディビル選手の立場を第一義に考えて行動する方針である。

当面7月台湾高雄で開催されるワールドゲームズにIFBB幹部も参加するので話し合っ実状を把握したい。と玉利会長、吉田副会長より説明がなされた。

18. ミス21健康美大会カテゴリ変更について

以前に日本連盟に申請のあったミス21健康美大会カテゴリの変更(身長160センチを基点とするなど)が執行部で承認されたことが審査委員会委員長より報告された。

19. 株式会社ドーム(リアルアスリートチャレンジ企画)のお願い

株式会社ドームは今年よりJBBF大会協賛スポンサーとなり、協力をして頂けることとなったので、現在進行中(7月中旬締切り)のリアルアスリートチャレンジ企画が、社員から説明された。地方連盟のトレーナーや選手、また大会に出ていなくてもトレーニングをしている個人に賞金が出る紙面企画であるので出場の協力要請があった。

以上で総会の審議事項及び報告事項は全て終了した。